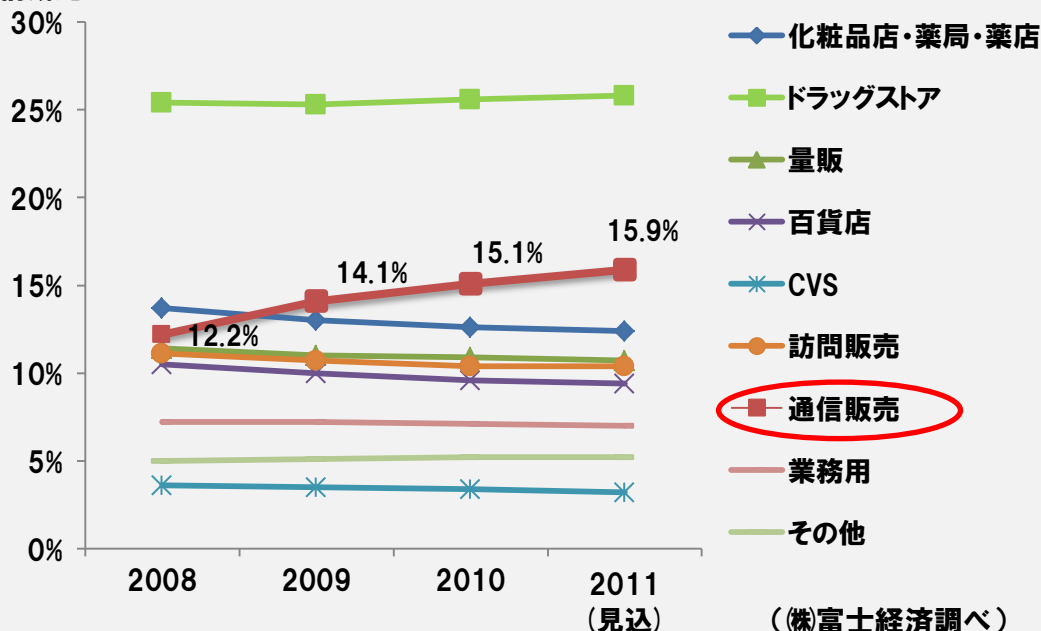


# 3. 化粧品市場 チャネル別構成比の推移

	2008年		2009年		2010年		2011年(見込)	
	販売金額 (百万円)	構成比 (%)	販売金額 (百万円)	構成比 (%)	販売金額 (百万円)	構成比 (%)	販売金額 (百万円)	構成比 (%)
化粧品店・薬局・薬店	267,520	13.7%	247,970	13.0%	240,230	12.6%	230,170	12.4%
ドラッグストア	496,890	25.4%	484,280	25.3%	490,170	25.6%	480,730	25.8%
量販	223,470	11.4%	211,140	11.0%	207,700	10.9%	198,790	10.7%
百貨店	206,140	10.5%	190,975	10.0%	184,370	9.6%	175,230	9.4%
CVS	70,490	3.6%	66,620	3.5%	64,230	3.4%	59,860	3.2%
訪問販売	217,290	11.1%	204,515	10.7%	199,720	10.4%	194,050	10.4%
通信販売	238,470	12.2%	270,000	14.1%	289,250	15.1%	296,000	15.9%
業務用	140,700	7.2%	137,370	7.2%	136,290	7.1%	130,100	7.0%
その他	98,730	5.0%	97,530	5.1%	99,490	5.2%	96,470	5.2%
合計	1,959,700	100.0%	1,910,400	100.0%	1,911,450	100.0%	1,861,400	100.0%

(株)富士経済調べ

<構成比:%>



チャネル別構成比1位は2008年以降ドラッグストアが維持している。

通信販売は2008年の時点で化粧品店・薬局・薬店につぐ3位であったが、2009年には2位となっている。

通信販売はその後も販売金額を伸ばし、高成長を続けており、2011年は15.9%になる見込み。